

未来を拓く いわきの 生業

産業における重要な役割を果たす

小名浜港は、江戸時代に幕府の代官所が置かれ、納付米が積み出されたことから、港としての基礎が築かれまし。明治時代には常磐炭田の積み出し港として地域の発展を担うなど、役割を変えながら、昭和三十一年の開港から六十年、歩みを積み重ねてきました。石炭などを中心とした物流拠点としての役割を果たす一方、観光産業や水産業の拠点として、本市の発展に欠かせない重要な役割を果たしています。

石炭の調達・輸入の拠点

石炭の積み出し港として機能してきましたが、現在は、周辺に立地してい



エネルギーとなる石炭などの物流拠点として機能

連載シリーズ

る火力発電所や企業に、エネルギー用の石炭を供給する機能を担っています。こうしたことを背景に、全国の港湾の中から、エネルギー供給を支える石炭調達の拠点港として、国際バルク戦略港湾に選定されました。また、特定貨物輸入拠点港湾（石炭）にも指定されています。

観光産業・水産業の拠点

一・二号ふ頭エリアは、いわき・ら・ら・ミュウのオープンを皮切りに、アクアマリンふくしま、小名浜さんかく倉庫と、新たな施設が整備され、多くの観光客が訪れるにぎわい空間となっています。

平成二十八年の同エリアの観光交流人口は約百七十四万人で、市全体の約



さまざまなイベントが開催され、多くの人でにぎわう1・2号ふ頭の広場

二十パーセントを占めており、市内屈指の人気観光スポットです。また、本格的な漁業再開に向け、小名浜魚市場のある小名浜港では試験操業が進められており、水産業の拠点としても機能しています。

さらなる発展に向け さまざまな事業が進む

現在、小名浜港東港地区の国際物流ターミナルの整備事業や、小名浜港背後地の再開発事業、臨港道路から常磐自動車道までのアクセスを可能にする小名浜道路事業が進められています。物流機能の拡充やにぎわいの創出、観光交流の促進など、産業の基盤としてさらなる発展が期待されます。



3月には東港地区に架かる小名浜マリナブリッジが完成

地名の中の「いわき」

常磐の由来②

前号で常磐地域が「いわき市」に変化したことを紹介しましたが、市内にはもう一つ「常磐」という呼び方をしている地区があります。旧常磐市、現在の常磐地区です。

元々は、湯本町を中心としていた地区ですが「常磐」を名乗るようになったきっかけは、常磐炭鉱株式会社の存在で

地名には、地域の歴史を知るヒントが隠されています。市内各所の地名にまつわる由来などを紹介し「いわき」の歴史をひもときます。

した。昭和十九（一九四四）年に、入山採炭株式会社と磐城炭鉱株式会社が合併して成立した同社は、湯本町に本拠地を置き、福島県だけでなく茨城県にもまたがり、石炭を採掘していました。

昭和二十年代から三十年代にかけて、全国で進められた町村合併（昭和の大合併）では、湯本町は磐崎村と鹿島村の一部との合併により人口が増加することで、市への昇格が確実視されていました。湯本町が提案した「湯本市」に磐崎村が反対したため、市名が決まりませんでした。

最終的には、同社がいずれの地域においても採炭事業を展開しているという理由で「常磐」が選ばれました。

この結果、常磐市が成立した昭和二十九（一九五四）年から、いわき市が誕生した昭和四十一（一九六六）年までは、通称地名と市名の二つの「常磐」が存在していました。

（いわき地域学會 小宅幸一）
※いわき市内の昔の写真をお持ちで、提供いただける方は、ふるさと発信課（☎22・7503）までご連絡ください。

三世代の同居・近居のための住宅取得費用などを補助

住まい政策課 ☎22-1178

子育て環境や高齢者見守りの充実などを目的に、三世代以上の世帯が同居・近居を行うための住宅の新築・取得または改修などに係る経費の一部を補助します。

▶対象 本年4月1日以降に住宅取得などの契約を行い、新たに祖父母（曾祖父母含む）、父母および子の三世代で同居・近居（おおむね2キロメートル以内）をする方

▶募集戸数 5戸程度（応募多数の場合は抽選）

▶補助額 補助対象経費の2分の1以内または基本額（50万円）と各種加算額の合計のいずれか低い額（上限110万円）

▶申込期限 10月31日（火）

※申し込み方法など、詳しくは同課へ。



動物愛護絵画作品を展示

保健所生活衛生課動物愛護係 ☎27-8592

小学生を対象に募集した、動物愛護をテーマとした絵画作品を展示します。

▶とき 9月20日（水）～10月22日（日）

▶ところ 総合保健福祉センター

9月20日～26日は動物愛護週間です。動物は責任を持って飼いましょう。

お知らせ Information

いわき市民コミュニティ放送 (76.2MHz)

▶市政情報番組「いわきWith」
毎週月曜日 19:00~19:30
毎週土曜日 8:30~9:00 (再放送)

▶GOOD DAY いわき プラス
月~金曜日 7:44~12:10

▶古紙回収実施の有無 (当日に放送)
回収日が月~金曜日 7:43ごろ
回収日が土曜日 7:59ごろ

ラジオ福島 (1431KHz)

市政情報番組 毎週土曜日 8:55~

市政だより

福島放送 9月9日(土) 11:40~
10月14日(土) 11:40~

福島中央テレビ 9月16日(土) 9:25~
福島テレビ 9月17日(日) 13:55~
テレビユー福島 9月23日(土) 9:25~

シルミルいわき

福島テレビ 9月24日(日) 13:55~

※変更となる場合がありますので、ふるさと発信課ソーシャルネットワークグループ (☎22-7503) へお問い合わせいただくか、市ホームページをご覧ください。

今月の納期 (納期限10月2日月)

国民健康保険税 第2期
後期高齢者医療保険料 第2期
下水道事業受益者負担金 第2期
介護保険料 (第1号被保険者) 第3期

いわき市の人口と面積	人口 345,888人 (-245)
	男 171,100人 (-98)
	女 174,788人 (-147)
	世帯数 142,475世帯 (-35)
	面積 1,232.02km ²
	平成29年8月1日現在 / (前月比)



催し

吉野せい賞40周年 記念事業

文化振興課文化振興係

☎22・7544

日 10月14日(土) 13時~

所 いわきPIT (平祢宜町5-13)

内 映画「涙をたらした神」上映会、監督などによるトークショー

定 / 料 100人 (応募多数の場合は抽選) / 500円

申 いわきPITへ電話 (☎38・3826) で

期 10月5日(木)

第2期市民後見人 養成講座受講に係る 事前説明会

保健福祉課地域福祉推進係
☎22・7007
FAX 22・7590

日 10月28日(土) 13時30分~15時30分

所 市文化センター

定 100人 (応募多数時抽選)

申 同課または各地区保健福祉センターに備え付けの申込書に必要事項を記入し、

期 10月11日(月)~10月13日(金) 消印有効

第48回磐共祭

磐城共立高等看護学院
☎27・1200

日 9月30日(土)、10月1日(日) 10時~15時

所 同学院

内 研究発表、バザー、喫茶

9月24日から30日は「結核予防週間」です

- ・咳が2週間以上続く時は、早めに受診しましょう
- ・規則正しい生活を送りましょう
- ・生後1歳までにBCGを接種しましょう
- ・年1回は、胸部レントゲン検査を受けましょう

公園緑地課管理係

☎22・7518

日 10月15日(日) 15時~17時

所 勿来の関公園「吹風殿」

内 IBCサクソフォンアンサンブルによるサクソフォン四重奏の演奏

※入場・観覧料は無料です。



案内

野生キノコの採取・ 出荷を制限

林務課林業振興係

☎22・1181

本市では、平成23年9月15日から、野生キノコの採取および出荷が制限されていますので、引き続き、採取や出荷を控えてください。

※出荷目的で原木キノコを栽培する場合、原木の放射線量を事前に確認する必要がありますので、県いわき農林事務所林業課 (☎24・6193) へお問い合わせください。

平成29年就業構造基本 調査に協力を

政策企画課統計分析係

☎22・7411

就業・不就業の状態を把握し、雇用や経済政策などに必要な基礎資料とするため、10月1日現在で同調査を実施します。

調査対象は、統計理論に



募集

エアロビックスフェスタ 2017&ハロウィン 仮装大会の参加者

スポーツ振興課スポーツ振興係
☎22・7553
FAX 22・1285

日 10月21日(土) 13時30分~16時30分

所 総合体育館

内 ①エアロビックス未経験の方を対象にした教室 ②

チームによる発表会

料 一人当たり500円

申 ①を希望する方はハガキ

に住所・氏名・年齢・電話番号を、②を希望する方は

チーム名と人数、代表者の住所・電話番号を記入し、

〒970-8686 ス

ポーツ振興課へ (FAX ☎可)

期 10月11日(水)必着

基づき無作為に選ばれ、9月上旬から世帯確認のため、調査員が訪問しますので、協力をお願いします。

地区敬老会を開催

長寿介護課長寿支援係 ☎22-7467



とき	時間	地区	ところ
10/3(火)	午後	遠野	上遠野公民館
10/4(水)	午前	勿来	勿来市民会館
	午後	平	アリオス
10/6(金)	午後	川前	川前活性化センター
	午前	田人	田人ふれあい館
10/11(水)	午後	常磐	常磐市民会館
	午後	好間	好間公民館
10/13(金)	午後	久之浜・大久	久之浜・大久ふれあい館
10/17(火)	午後	小名浜	小名浜市民会館
10/19(木)	10時~	四倉	いわき海浜自然の家
10/20(金)	午後	内郷	総合保健福祉センター
10/24(火)	午前	三和	三和ふれあい館
10/26(木)	午前	小川	小川中学校

☎ 9月15日現在で市内に居住する70歳以上の方
※「午前」は9時30分~、「午後」は13時30分~。

募集 生活援助サービス従事者 養成研修の受講者

地域包括ケア推進課事業推進係
☎22-7465

日 ①9月コース=9月22日(金)・26日(火)・28日(木) ②10月コース=10月19日(木)・24日(火)・26日(木) (いずれも全3回)

時 9時30分~15時30分

所 総合保健福祉センター

対 市内居住者で、全日程を受講できる方

定 20人 (先着順)

申 9月15日(金)からニチイ学館いわき支店へ電話 (☎21-7898) またはファクス (FAX 21-7931) で

